

令和4年度 第2回蒲江地域振興審議会

令和4年9月29日（木）19:00～21:00

蒲江振興局 2階 203会議室

（委員12名中7名出席） （事務局：蒲江振興局6名）

川上会長	増野局長
戸高委員	飛高課長補佐
水本委員	中元総括
塩月委員	山本主幹
山田委員	中西副主幹
安部委員	後藤事務員
山崎委員	

- ・出席者 委員7名、事務局6名、 計13名
- ・公開、非公開の別 公開
- ・傍聴人数 0人

発言者	発言内容
山本主幹	<p>〈開会〉</p> <p>時間になりましたので、ただ今から、令和4年度 第2回蒲江地域振興審議会を開会いたします。本日、進行を勤めさせていただきます山本と申します。よろしくお願いいたします。 それでは審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日の審議会は、審議委員12名中7名の出席を頂いており、「佐伯市地域振興審議会条例」第6条第4項の規定により、委員の半数以上が出席されていますので、本会が成立することを申し上げます。</p> <p>次第2 会長あいさつ。川上会長お願いします。</p>
川上会長 山本主幹	<p>～川上会長挨拶～</p> <p>ありがとうございました。また、今回から蒲江翔南学園名護屋地区PTA代表として、丸市尾の小嶋 真由美さんが審議委員とされましたが、本日は不幸ごとがあり本日は欠席となっておりますので、紹介のみとさせていただきます。</p> <p>それでは、次第3の議事に入りたいと思います。「佐伯市地域振興審議会条例」第6条第1項の規定により、会長が議長になりますので、川上会長に議長をお願いしたいと思います。川上会長お願いします。</p>
川上会長	<p>それでは、ここからは私が進めて行きたいと思います。皆様のご協力をよろ</p>

<p>中元総括 川上会長</p>	<p>しくをお願いします。 では、議事に入ります。 「(2) 第2次佐伯市総合計画(後期基本計画:地域活性化分野)の策定について」事務局より説明をお願いします。 ～事務局より説明～ 説明があったように大きい数字の1, 2, 3, 4をチェックしていただき、継続もしくは廃止、あるいは追加というような審議をしていただくこととなります。まずは1つつ当たっていきたいと思います。 1, 現状と課題について アンケート結果に出ているこれから蒲江地域に期待することを踏まえ、どう計画に盛り込んでいくか。また、審議委員の皆さんが考えていることについて意見を聞かせていただきたい。一度事務局から内容の読み上げをお願いします。</p>
<p>中元総括 川上会長 山田委員</p>	<p>～現状と課題について事務局の草案を読み上げ～ ありがとうございます。この草案についてどうでしょうか。 内容的には問題ないと思うが、厳しい道路事情のところは具体的にはどう厳しいのか皆さんに伝わるのか疑問に思った。皆さんが理解できるのであればそのままいいと思うがどうだろうか。 内容については、道幅の狭さや災害時に交通に支障が出ることが多い点等を踏まえて厳しいという表現で共通認識できるのかどうか。</p>
<p>安部委員</p>	<p>先に「現状と課題」を考えるのではなく、2以降の基本方針等を考え、その内容を要約したものを「現状と課題」とするのが良いのではないかと思います。</p>
<p>中元総括 山崎委員</p>	<p>「現状と課題」をもってそれに対する目標や計画を策定する形で進めていきたい。 「ワーケーション」や「オーガニック」といった市民の方が理解しづらい言葉をわかりやすくした方がよいのではないか。</p>
<p>中元総括</p>	<p>職員の中でも全員が言葉の意味を完全に理解しているとはいいい難く、市民の方はなおさらだと思う。方法としてはわかりやすいように言い換えるか、注意書きで書くか等を検討する。</p>
<p>山田委員</p>	<p>最終的には市内全ての計画を冊子にまとめて公開するため、一般的に使われている言葉についてはあまり細かく記載する必要はないと思う。「オーガニック」については佐伯市として取り組むとしているため、内容を盛り込まないといけないと思う。すべての人が理解する文章は難しいので、注意書きぐらいで良いと思う。</p>
<p>水本委員</p>	<p>オーガニックという言葉が広義なので、どういったことに取り組むのかということに記載した方がよいのではないか。現在の内容だと「オーガニック」がどのようなものかわかったうえで解決策として盛り込んでいるように感じ</p>

川上会長	<p>る。まだどういった形で「オーガニック」に向き合うのか意識が共有できていないので、取り組み方を考えて、周知していくことが課題なのではないか。</p> <p>1の中にある「オーガニック」については、有機農業や漁業という内容だと考える。一方、市が謳う「オーガニック」というのは、循環可能なまちづくりという意味があると思っており、意味が違ってくる。市として取り組んでいく「オーガニック」に対する取り組みを考えていこうという意見であったと思う。ほかの人の意見はどうでしょうか。</p>
安部委員	<p>「さいきオーガニックシティ」について共通認識を広めるためにも、わかりやすく言い換えてほしい。(定義が曖昧)</p> <p>この件については、事務局の方で「オーガニック」についての定義の追加を含め、内容の見直しを行うことで決定。</p> <p>2. これからの基本方針・及び3. 主な取り組みについて</p>
川上会長	<p>アについて、この内容は振興局として行うことなのか、市民(管内)としてすることなのか。現時点で振興局として出来ているか不明な点がある。</p>
中元総括	<p>振興局だけが行う計画ではなく、蒲江地域として何を行っていくかという計画である。振興局だけで行うのは難しい話である。</p>
山崎委員	<p>この内容は振興局が発起人という形で主導し、軌道に乗ったら主催者を変えていく形になるのか。</p>
中元総括	<p>民間の企業、団体が行う企画についてもこの計画には含まれるため、振興局としてすべて行うわけではない。</p>
山崎委員	<p>振興局は問い合わせ等があった際に観光客と民間企業をつなぐ橋渡し役を担っていくのかよいのではないか。</p>
川上会長	<p>森崎の牡蠣は昔から盛んにしているが、見学ツアー等は実施しているのか。</p>
塩月委員	<p>県から依頼があり、学習活動として高校生が見学に来ることはある。</p>
川上会長	<p>振興局として情報発信するツールは持っているのか。</p>
中元総括	<p>現在、振興局単体として発信するツールはない。</p>
安部委員	<p>今の内容だと誰が情報の発信等を行うのか曖昧で、各業種との横のつながりもなく、誰もしないのではないか。もっと皆で協力し合いながら出来るようにまとめ役を決めた書き方にした方がよいのではないか。</p>
中元総括	<p>蒲江地域としての計画であるため、実施するのは公私含まれている。どこが主体とかではなく、もっと広く捉えてほしい。</p>
川上会長	<p>前回、前期計画の評価を行う際、基準が曖昧で、活動を振り返る際に苦労した。この5年間で行う具体的な内容、またその内容を誰が主体となって行うのかを決めておかないと活動が進まないと考える。</p>
山崎委員	<p>ヒラメの養殖をして10年以上たつが、毎年夏休みに県の養殖協議会の方から学生の見学の打診を受け行っている。農家の方も農協等から同じような打診があった場合は受けることができると思う。そこで振興局が間をもって</p>

安部委員	<p>もらえれば協力してもらえないのではないか。</p> <p>地場産業に携わる人が観光客に来てほしいと思っていなければ迷惑なだけなのでそこに配慮する必要もあると思う。来てほしいと思った際に、この計画があるからどう展開していくかが見えない。現在地場産業に携わる人が観光客を呼び込みたいと思った時に話が進まないのは間に取り持つ人がいないからで、その問題に対する取り組みを具体的に書く必要があると思う。例えば現在の内容で計画が決まった場合、振興局はすぐに動くのか。</p>
中元総括	<p>活動に協力してもらえない人については会議等を通して決めたことを地道に説明していくしかないと思う。予算等の兼ね合い等もあるので、話し合いで決まってすぐに活動に入れるわけではない。</p>
川上会長	<p>この計画は振興局が主導してどういった活動を今後 5 年間でしていきたいという計画という認識で良かったか。</p>
山田委員	<p>自分の感覚としてはこの計画は、オーガニックシティの実現という佐伯市としての目標に対して蒲江としてどういう取り組みを行うのかということを決める計画であると思っている。現状と課題を改善するための基本方針を決めていった方がよい。現在の計画が具体的すぎるのであればもっと包括的な書き方に直したり、ここにはない内容を足したほうが良いのであれば新しく項目を足したりしていけばよいと思う。あくまで方針なので、細かい内容を決めるのではなく、もっと大きなくくりで見ていった方がよいと思う。</p>
山崎委員	<p>観光施設のリニューアル及び改修というのは具体的にはどういったことをする予定なのか。</p>
中元総括	<p>前回高平キャンプ場の改修を行い、利用客も増えているが、ほかの場所というところあまり場所がないのでこの項目は外してもよいかもしれない。</p>
安部委員	<p>離島のゲストハウスに限定した書き方ではなく、民宿等も含めた蒲江全体の滞在型観光の推進という形で良いと思う。</p>
中元総括	<p>どうしても屋形島、深島の離島は蒲江の観光の目玉でもあるため、その部分を推進する形をとりたい。</p>
安部委員	<p>深島も屋形島も宿泊できるキャパシティーが多くないので、そこまで来てほしいとは思っていない。ほかの民宿等の兼ね合いもあるため、離島を中心とするのではなく、全体での取り組みの方がよいのではないかと感じる。離島を中心に取り上げる必要はない。</p>
中元総括 山本主幹	<p>滞在型観光に関する記載については意見を参考に修正する方向にする。</p> <p>オの植栽について、蒲江内にあるまだあまり知られていない花等を新たな観光場所として広めていきたいということを考え、項目として挙げさせてもらっている。</p>
安部委員	<p>今自然に群生しているものを生かすという考え方なら、保護や保全の方が理念としては近いのかなと感じた。</p>

山崎委員	<p>合併前は町花があり保全活動を行っていたが、町花でなくなり、住民も切るようになってしまった。それに対しての保全事業等も検討した方がよいのではないか。</p> <p>植栽の保護、保全に関する文言を追加し修正する。</p>
山崎委員	<p>イについて料理人などを対象にとあるが、有名料理人を蒲江に呼び、それを見に来てほしいというように見られるので、蒲江の食材を使ったイベントを実施するという形で良いと思う。料理人に限定するする必要はないと思う。</p> <p>料理人の記載をなくすことで決定。</p>
川上会長	<p>これまでにどのようなキャンペーンを行っているのか？またどのようなキャンペーンを想定しているのか。</p>
中元総括	<p>県の事業で「かまえにたちよる」というキャンペーンを行っていたりする。具体的なキャンペーンについては現時点では考え中である。</p>
川上会長	<p>あらゆる広告媒体をとあるが、現時点では振興局単体の情報発信ツールはないとのこと。振興局として地元の産業等を紹介する方法を検討してもらいたい。</p>
安部委員	<p>キャンペーンというほかの地域でやっているフォトコンテストのようなイメージかなと思ったが、そのための発信媒体やハッシュタグ等もない。蒲江のことを発信する媒体があれば、普段自分が使っている SNS 等で拡散することで情報発信がやりやすくなる。</p>
水本委員	<p>蒲江独自の情報発信の方法を考えた方がよいのではないか。キャンペーンとなるとこれまでと同じように単発的なやり方で次につながらない。継続的に発信する形を目指しやり方にしたい。</p> <p>意見を踏まえ内容を修正することで決定。</p>
塩月委員	<p>(イ) と (ウ) については一緒にしてもよいのではないか。</p> <p>反対意見なしで、統合。</p>
川上会長	<p>オーガニックにつながる計画がないが、その点についてはどう考えているのか。この項目にあるオーガニックとは、有機的なものを指すのか。それともさいきオーガニックシティとして目指すオーガニックを意味するのか。</p> <p>当初は有機的なものを想定していたが、蒲江としてどう取り組むか難しい点である。</p>
山田委員	<p>蒲江でオーガニックが実践出来るかわからないが、現時点でオーガニックに取り組んでいる地域に行き、少なくとも学習することが大事だと思う。そういった取り組みを計画に入れ、5年10年スパンで出来るようなものでないと思うので、研究する基盤を作っていく方針が良いのではないか。</p>
山崎委員	<p>養殖の際に、海水を循環して使わせてもらっている。フランスの方では淡水魚を養殖する際に、不要になった餌等を水を育てる野菜等を栽培し、きれいになった水を再度使用することなどを実施している。たあだ、費用がどうしても</p>

	<p>高くなるのでお金をかけるか時間をかけるかどちらかになると思うので、すぐに結果が出るような活動にするのは難しいと思うので、オーガニックにとられすぎなくてもよいと思う。</p>
安部委員	<p>食品のオーガニックというと有機的なイメージがどうしても強くなるので、食に限定しない佐伯市としてのオーガニックを推進するために違う呼び方をした方がよいのではないか。</p>
山田委員	<p>これまでの計画で蒲江としては佐伯市のオーガニックの中で食の部分にスポットを当てている。先ほども言ったようにすぐに取り掛かれる問題でもないので、食に関して今後どのように取り組んでいけるか考えるために学習する計画を入れた方がよいと思う。</p>
川上会長	<p>新たにオーガニックを学習する計画を追加することで決定。 ウについて(ア)の楠本工事の最終目標の時期が分かっているならば皆さんに報告をお願いします。</p>
中元総括	<p>年度は決まっていないが、楠本から河内までをつなぐトンネルの工事が予定されている。丸市尾の方はこの前完成した葛原トンネルとは別にもう一つ予定しており、こちらも時期は決まっていない。</p>
山崎委員 中元総括	<p>(イ)の検証とはこういったことを指すのか。 コミュニティバスの時刻を利用上不便なところはないか等を検証する。 ウについては現状のままで決定。</p>
山本主幹	<p>エ、オについては次回の会議で審議を行う。ア、イについては再度振興局で検討を行い、修正した内容を次回の審議会ですべて審議を行う。 以上で本日の審議会を終了します。次回の審議会のについてはまた後日文書にてお知らせします。</p>